

The library news

夢の図書館

12月号 (第213号) 2019年12月23日発行

令和元年があと1週間ほどで終わろうとしています。今年はたくさんの本を読みましたか？お気に入りの1冊は見つかりましたか？様々な本を紹介してきましたが、図書委員がおすすめした本がお気に入りになっていれば、とてもうれしいです。

図書委員のおすすめ本

「世界の中心で愛を叫ぶ」

片山 恭一 著

高校2年生の翔太郎と、恋人のアキ。

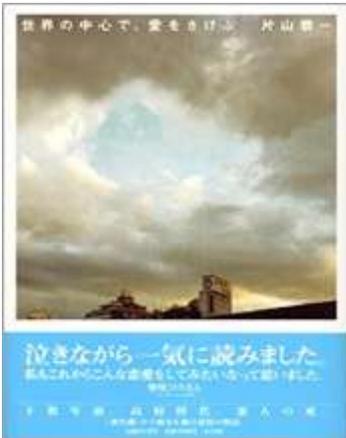
アキの死から物語は始まる。

二人の出会い、無人島への旅、そしてアキの発病、入院…。

最愛の人を失うとは、どういうことなのか。

日本中を涙させたラブストーリー。

321万部空前のベストセラー。(2年 M.A)



「君を忘れたそのあとに」

いぬじゅん 著



家庭の都合で半年ごとに転校する瑞穂。度重なる別れから自分の心を守るため、クラスでは心を閉ざし暮らすのが日常となっていた。高2の春、瑞穂は転校してきた駿河と出会う。すぐにクラスになじんだ人気者の駿河いつもどおり無関心を貫くつもりだったが、転校ばかりという共通点から二人は次第にひかれあい、恋人へと発展し…。やがて二人の間にはあるつながりがあり、そして瑞穂の転校も終わりを迎える。

優しさにあふれた涙必至の青春物語 (2年 S.K)



「ツナグ」

辻村 深月 著

一生に一度だけ、死者との再会をかなえてくれるという「使者」。突然死したアイドルが心の支えだったOL、年老いた母親に、がん告知できなかった頑固な息子、親友に抱いた嫉妬心に苛まれる高校生、失踪した婚約者を待ち続ける会社員…。ツナグの仲介の元、再会した生者と死者。それぞれの想いを抱えた一夜の邂逅は何をもたらすのだろうか。心の隅々に染み入る感動の連作長編小説。

「夏の祈りは」

須賀 しのぶ 著



文武両道の県立北國高校にとって甲子園への道は遠かった。格下の相手に負けた主将、香山が立ち尽くした昭和最後の夏。その十年後は、エース、葛巻と豪腕、宝迫を擁して戦った。女子マネの仕事ぶりが光った年もあった。そして今年、期待されていないハズレ世代がグラウンドに立つ。先輩から後輩へと託されてきた夢と、それぞれの夏を鮮やかに切り取る青春小説の傑作。

(2年 G.A)

12月といえばクリスマス！

クリスマスの意味はイエス・キリストの誕生日を祝う日とされています。でも実際の誕生日は不明で、聖書にも載ってないそうです。

●～ここでおすすめのクリスマスソング～

「White Light」 安室奈美恵

人気な女性歌手の定番ですよ。
ミディアムテンポの切ないメロディと
歌詞がおすすめです。

「クリスマスソング」 back number

10, 20 代の間のダントツ人気ですよ。
片思いの気持ちを歌う、冬に聴きたい切ない歌です。
(by 日本で 47 番目に有名な県の親善大使)



本を読みながらぜひ聴いてみてください！

10月号のハロウィンクイズの答え

Q1, ①19世紀 Q2, ③クモ Q3, ②秋の収穫祭③悪霊払いのため

みなさんは分かりましたか？

それでは良いお年を！！年明け元気に夢野台でお会いしましょう！！

夢野台図書館は12月24日（火）までです。

年末年始で読書したい人は冊数に制限なく、貸し出しますので借りに来てください。

また、夢野台図書館から借りた本には学校名が入ったバーコードが貼っています。

もし、返し忘れていた場合は返却BOXに入れてください。